

■くらしき東エリア/倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア/倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町 ■吉備路エリア/総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア/井原市・高梁市川上町・高梁市

くらしき東 無人ヘリコプターで農薬散布 省力化に向けて

くらしき東管内の水稻圃場では8月13日から、無人ヘリによる農薬の空中散布を行いました。近年では、効率的な農薬散布として無人ヘリによる防除作業が年々拡大しています。地域一斉で取り組むことで、効率よく広い範囲での適期防除が可能となっています。早朝からの作業開始ですが、地域の方々の協力によってスムーズに行うことができました。ご協力ありがとうございました。



無人ヘリでの農薬散布の様子(茶屋町地区)



生産拡大

くらしき東 児童たちがモモの体験学習 地元・浅原のモモを学ぶ



選果作業を体験する児童

浅原園芸組合は9月1日、岡山市にあるA.M.I学童保育センターの児童19人を招き、モモの選果作業の体験を浅原選果場で行いました。この体験学習では、室山組合長や備南広域農業普及指導センターの担当者から、浅原のモモの特徴やおいしいモモの収穫ポイント、収穫方法の説明がありました。その後、選果場内の見学を行いました。出荷箱作りや選果作業を体験しました。また、同組合から晩生品種「恵白」のプレゼントもありました。



地域活性化

くらしき東 のびのび女性部活動 手芸教室を開く

女性部早島町支部は9月7日、早島町支店で手芸教室を開きました。今回は14人が参加し、エコクラフトテープを使ったミニバスケット作り挑戦しました。テープを編んでいくのに難しい部分もあり、参加者たちは真剣な表情を見せていました。完成したミニバスケットに満足していました。分らない所は、協力しながら、オリジナルのミニバスケットを作ることができました。



ミニバスケット作りを行った皆さん(早島町支店)

ムスイ鍋料理講習会

くらしき東管内の各支店では、ムスイ鍋を使った料理教室を開きました。講習会では、日本食生活改善指導会の方を講師に実演を行い、ムスイ鍋の活用方法や手入れ方法を学びました。菅生支部では8月29日に開き、18人が参加しました。ムスイ鍋を使い、山菜おこわ、鶏肉の味噌マヨ焼き、ヘルシー鶏さつま、揚げ出し豆腐の4品を作り、早く簡単に出来る方法を学びました。出来あがった料理は全員で試食し、楽しい講習会となりました。



ムスイ鍋講習会の様子(菅生支部)

くらしき東 園児が稲刈りに挑戦 「バケツ稲」が大きく成長

茶屋町保育園は9月13日、バケツ稲の刈取りを行いました。このバケツ稲は、園児が6月にモミ播きを行い、大きく成長したものです。ほとんどの園児は、鎌を持つのは初めてでしたが、先生の指導のもと、慎重に稲を刈っていました。今後は、乾燥させた籾の脱穀体験や、採れたお米を使用して「おにぎりパーティー」、年末には「お飾り作り」も行う予定です。



バケツ稲の刈取りを行う園児



地域活性化

くらしき東 各直売所で秋のお彼岸セールを開く 菅生・早島町・児島



かき氷の無料サービスも行われました(早島町直売所)

くらしき東管内の各直売所は、お彼岸に合わせてセールイベントを開きました。早島町直売所「ふれあい青空市」、児島直売所「郷の里」は9月15日、菅生直売所「すがお」は9月22日に開催し、シキビや仏花など多数用意して、多くのお客さまで賑わいました。また、店舗前には特設テントを設け、手作り焼きソバや3色おはぎなどの販売も行われました。

倉敷西 料理教室で親睦を深める 女性部船穂支部

女性部船穂支部は9月10日、J.A岡山厚生連の講師による「料理教室」を開きました。当日は、12人が参加して、「牛肉と新シヨウガのちらしずし」「白玉団子とソーメンの清汁」「オクラのおかかナムル」「甘酒かん」の4品を作りました。講師に、レシピの分かりにくい部分や、アレンジできる食材なども教えていただき、楽しく調理することが出来ました。



見た目も味もハツクン

倉敷西 愛媛の伝統工芸と名物を満喫 里庄支店企画旅行



里庄支店は9月20日、支店企画旅行で愛媛県を訪れました。旅行行程は、砥部焼とタルトの手巻き体験です。「砥部焼陶芸館」では、店員の説明を聞きながら、コップ・湯呑・皿などの素焼きに、鉛筆と筆を持って絵付けしていきましました。参加者は、出来あがった物を笑顔でお互いに誉めあいました。また、「ハタダお菓子館」では、タルトの手巻き体験を楽しみました。

■くらしき東エリア/倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア/倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町
■吉備路エリア/総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア/井原市・高梁市川上町・高

倉敷西 女性部鴨方支部 万能「焼肉のタレ作り」

女性部鴨方支部は9月21日、午前と午後の2班に分かれて、部員35人が「焼肉のタレ作り」を行いました。
ミキサーにかけた材料と調味料等を混ぜ大鍋で煮ると、加工室の中には、タレのいい匂いが広がっていました。
このタレは、おいしさも栄養も満点で、色々な料理に使える万能調味料として好評です。
鴨方直売所ふれあい朝市「なごみ」でも販売しています。是非、一度ご賞味ください。



「おいしくなれ」の想いをこめて作りました

倉敷西 玉島北青壮年部が和歌山へ視察研修 高品質生産を目指して



真剣に講義を受ける部員

玉島北青壮年部は9月26日、21人の部員が参加して、和歌山県の「果樹試験場かき・もも研究所」で視察研修を行いました。
研修では、講師より和歌山県内の果樹の情勢や、モモの栽培方法についての講義を受けました。
参加した部員は「この研修をこれからの栽培の参考にして、より高品質なものを作っていきたい」と話していました。



吉備路 総社の白桃ドバイへ 総社も生産組合

総社も生産組合は8月下旬、香港、シンガポール、台湾に次ぐ輸出先としてアラブ首長国連邦(UAE)のドバイに白桃を空輸しました。
UAEは、砂漠気候のため露地栽培が難しく、野菜や果物のほとんどを輸入に頼っています。
そんな中、糖度が高くみずみずしい白桃は、現地のホテルやレストランでも好評で、新たな販路と収益の拡大が期待されます。



ドバイに空輸された白桃



吉備路 総社市で炊き出し 山手直売所出荷者の会



炊き出して郷土元住民ら

山手直売所「ふれあいの里」の出荷者の会会員は15日、総社市下原地区で炊き出しを行いました。
この地区は、工場の爆発事故と、西日本豪雨の浸水被害が相次いだ地区で、避難所で生活する住民から直売所に要望があり、地域を少しでも元気づけたいとの思いから、役員や加工班を中心にボランティアを募り実現しました。山手直売所出荷者の会は、今後も会員一丸となり地域住民の元気が出るような支援を行っていきます。

吉備路 園児を対象に交通安全教室 豊かで安心して暮らせる地域づくりに貢献

J A岡山西は総社市立神在幼稚園で9月12日、また、総社市立久代幼稚園で18日に、J A共済の地域貢献活動の一環として「交通安全教室」を開きました。
岡山県や地元の幼児とその保護者で組織された「幼児交通安全ももたろうクラブ」、総社警察署などの指導協力を得て行い、交通安全教育講師団の今中光子さんが赤黄青の皿を使った皿回しで信号の意味を伝えるなど、



警察官からパトカーについて説明を聞く園児 (神在幼稚園)



横断歩道の渡り方を練習する園児(久代幼稚園)

園児たちは楽しみながら交通规则を学びました。
また、横断歩道の正しい渡り方の指導や警察官によるパトカーの紹介など、園児の心身の発達段階や地域の実情に応じた交通安全教育を行いました。また、実施した記念品として子ども向けの教育玩具などを寄贈しました。

吉備路 JA便利 RSKテレビ 毎週月～金曜日 午後6時50分～ 放送中!

JAグループプレゼンツ
笑味ちゃん
天気予報
JA便利
生産拡大

9/24 総社市秦のブドウ生産者が紹介されました。 秦果樹生産出荷組合の野瀬弘三さんは、就農して16年目。



野瀬さんが育てる「紫苑」



野瀬さん(左)と研修生の佐々木さん(右)夫妻

75aのブドウ畑でシャインマスカットやピオーネ、紫苑などを育てています。
60年以上続くブドウ産地で、若い担い手を入れ、育成するグループを同世代6人と立ち上げています。
この日は、研修中の佐々木健さん、有利さんご夫妻と共に作業の様子や、ブドウ作りの楽しさ、苦労などを話されました。
取材にご協力いただいた皆さんありがとうございました。

■くらしき東エリア/倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア/倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町
■吉備路エリア/総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア/井原市・高梁市川上町弥高

吉備路 女性部相互の助け合い 女性部吉備路ブロックへ義援金

J A岡山西女性部は真備東支店で9月18日、倉敷西ブロックの赤澤眞弓部長が代表して吉備路ブロック真備支部の服部美代子支部長に義援金の目録を手渡ししました。この義援金は、西日本豪雨で被災した吉備路ブロックの女性部員に一日も早く元気になってほしいという思いで、くらしき東・倉敷西・西部ブロックの部員が募ったものです。部員の一人は、「皆さんの温かい気持ちがあるから私たちも頑張れる。ありがとうございます。」と話しました。



目録を受け取った真備支部服部支部長(前列右から2人目)と女性部役員ら

西部 井原市ぶどう部会出荷会議 井原市内の各地で開催



味見会の様子(芳井支部)

井原市ぶどう部会の出荷会議が8月23日から井原市内で順次行われ、本格的なブドウシーズンに入りました。今年は梅雨入りが早く、酷暑や豪雨に見舞われ、栽培には大変な年でしたが、生産者の栽培技術の向上により乗り切ることが出来ました。ブドウの出来は、糖度が高く、食味が良く、大変高品質に仕上がりました。出荷は、冬ぶどうが終わる12月中旬まで続きます。

西部 美星。ピオーネまつり 特産品PRと復興支援

美星。ピオーネまつり実行委員会は9月9日、「第15回美星。ピオーネまつり」を開きました。市内外から大勢の来場者が訪れ、贈答用や家庭用にブドウを買い求めています。用意した2kg箱905箱、5kg箱185箱は、午前中ではほぼ完売するほどの盛況ぶりでした。まつり会場では、子供神楽の上演や地元産野菜、花、美星豚の加工品などの販売に加え、新米「星むすめ」のおにぎりを振舞いました。



雨にもかかわらず大勢の来場者でにぎわいました



大舌井原市長に美星。ピオーネを手渡し
川上実行委員長(左から2番目)

また9月26日、売上金の一部は西日本豪雨の義援金として、会場に設けていた募金箱への寄付金とともに井原市へ贈りました。

実行委員会の川上寿史実行委員長(美星。ピオーネ部会部会長)と張谷和弘副実行委員長(星の郷青空市株式会社代表取締役)が井原市役所を訪問し、大舌勲井原市長に手渡しました。

西部 井原市前期露地ぶどう品評会 井原市産ブドウの仕上がりが上々

井原市とJ A岡山西は9月13日、いばらサンサン交流館で井原市前期露地ぶどう品評会を開きました。

品評会には、ニューベリーA11点、ニューピオーネ29点が出品され、特に優れた8点を選び、最優秀の井原市長賞に、ニューベリーAの部は伊藤照さん、ニューピオーネの部は村上高博さんが輝きました。

井笠農業普及指導センター、全農岡山県本部、J A他、関係職員が房形、粒の大きさや糖度、果皮の色づきや食味などを審査しました。



審査長の井笠農業普及指導センター佃博志所長は「本年は、昨年より着色もよく高糖度で食味が良い優れたブドウが多く出品された。梅雨明け後の少雨、高夜温という気象条件の中、高品質な果実が生産されたことは、生産者のたゆまぬ努力の成果と思われ。」と総評しました。

平成30年度 井原市前期露地ぶどう品評会入賞者

ニューベリーAの部		
賞	賞名	氏名
最優秀賞	井原市長賞	伊藤 照
優秀賞	全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞	田中 信行
優良賞	岡山県農業共済組合連合会長賞	三宅 英行
努力賞	井原市ぶどう品評会長賞	畝川 光基

ニューピオーネの部		
賞	賞名	氏名
最優秀賞	井原市長賞	村上 高博
優秀賞	岡山県備中県民局農林水産事業部長賞	田平 晃次
優良賞	岡山西農業協同組合長賞	伊藤 一弘 片岡 正仁
努力賞	井原市ぶどう品評会長賞	岡本 和弘

審査長の井笠農業普及指導センター佃博志所長は「本年は、昨年より着色もよく高糖度で食味が良い優れたブドウが多く出品された。梅雨明け後の少雨、高夜温という気象条件の中、高品質な果実が生産されたことは、生産者のたゆまぬ努力の成果と思われ。」と総評しました。露地ぶどう品評会の入賞者は、上記の通りです。(敬称略)

西部 特産ブドウを割安で提供 青野ブドウ即売会

井原市ぶどう部会井原支部は9月12日から14日までの3日間、青野中央選果場で井原市特産ブドウの即売会を行いました。

この即売会では、選果場に集まったブドウを市価の7割程度の値段で販売し、3日間で2kg箱と5kg箱あわせて615kgが飛ぶように売れました。

三宅憲治部会長は「多くのお客さまに新鮮でおいしいブドウを食べてもらえたらうれしい。今後も続けて行こうと思ふ。」と話していました。



特産ブドウを求めて列を作る来場者

西部 農業実務研修生受け入れ ブドウ産地の活性化を担う



井原市ぶどう部会は、担い手対策として新たに実務研修生を受け入れ、2年間の研修に入りました。

研修生の早川慎二さんは、岐阜県から移住して、美星町を研修地に選びました。その理由は、生活利便性が良く、露地で長期に渡ってピオーネ栽培が出来ることだそうです。

早川さんは、「とにかく一日でも早く栽培技術やノウハウを習得して、ブドウ栽培で生活が出来るようになります。」と抱負を語っていました。



出荷作業をする早川さん(左)